

地震発生にそなえて

9月1日総合防災訓練

いつ発生してもおかしくないと言われている東海地震にそなえ、今年も9月1日(水)に市民総参加による実践的な、富士市防災訓練が行われます。



次の訓練内容は、自主防災組織による訓練の一例を示したものです。地域の特性を十分考慮して実施してください。

訓練の想定は

9月1日午前9時、内閣総理大臣は、地震災害に関する「警戒宣言」を発令して1日経過した、午前10時30分、駿河湾を震源域とするマグニチュード8の地震が発生。

このため、駿河湾沿岸一帯に津波が発生し、各地では、山くずれ、家屋の倒壊、道路の陥没、橋りょうの落下などの被害が発生し、多数の負傷者が生じた。

また電気、ガス、水道、電話、交通機関などの施設も大きな被害が発生した。

訓練の重点目標

- (1) 家庭における防災点検と安全の確認。
- (2) 地域の実態に即した自主防災組織の活動。
- (3) 事業所の防災要員配備と保安措置。
- (4) 行政機関、公共機関の地震防災計画の実践。

項目

- 警戒宣言の伝達
- 家庭の防災対策
- 避難の誘導
- 児童生徒の引取り
- 防災資機材の点検配備
- 人員の確認及び報告
- 津波警戒パトロール
- 初期消火活動
- 救出救護活動
- 炊出し、応急給水活動
- 被害状況の把握及び報告
- 講評

内容

情報班は警戒宣言発令を周知する。
 テレビ、ラジオで情報を確認し、火の始末、老人・病人の安全確認。非常持出品の確認と準備。
 避難誘導班は、避難地、避難路の安全を確認し、地域住民の避難誘導にあたる。
 幼稚園、保育園、小学校へあらかじめ決めた方法で児童、生徒を引取りに行く。
 可搬式消防ポンプ、浄水機などの資機材の点検及び事前配備を行う。
 避難人員の把握と訓練参加人員を確認し、市の防災拠点に報告する。
 海岸地域の自主防災会は、水防団、消防団員と協力して津波警戒にあたる。
 消火班は、可搬式消防ポンプ、消火栓へのホース連結、消火器、水バケツによる消火。
 救護班は、三角布・副木の使用方法実習。
 給食給水班は、ハイゼックスによる炊出し。浄水機及び応急給水場所からの運搬給水など。
 情報班は、地域の被害状況をまとめ市の防災拠点に報告する。
 自主防災会長は、訓練全般にわたる講評を行う。



市政や日常生活のことなどについて、あなたの意見や質問をお寄せください。紙上の匿名はさしつかえありませんが、原稿には住所氏名、年齢を必ずお書きください。▷送り先 市広報広聴課

富士駅西側地下道は 自転車をおりて

私は、富士駅西側地下道をよく利用します。

その際、ベビーカーに子どもを乗せて行くことが多いわけですが、自転車に乗り、ブレーキも掛けずに走ってくる人がほとんどでいつも恐い思いをしています。私は小さな子どもを連れていきますからなお敏感なのかもしれません。しかし、加速した自転車があの狭いところを走り、すれちがう恐さを想像してください。自転車に乗った人はあまり感じないのでしょうか。

地下道の入口には注意書があり、自転車はおりて通行してくださいと書いてあるのです。みんなが使う道路です。事故が起きる前に、私たち歩行者が安心して歩けるよう、ぜひ注意書を守り、自転車をおりて通行していただくようお願いいたします。

(駅南地区一市民)